

問17 コーディネーターとしての活動上の悩みや課題と感じていること (N=800)
 ※複数選択(3つまで)

	全体	小学校	中学校
学校内や地域でコーディネーターの存在が認知されていない(位置づけが不明確)	348	248	100
学校が求める地域人材等(ボランティア)の確保が難しい	228	149	79
活動に必要な経費が不十分もしくは制約があり使いづらい	211	150	61
学校や行政がコーディネーターにどのような役割を期待しているのかわからない	160	104	56
教職員の異動によって学校支援の方針が変わって戸惑う	154	109	45
PTA活動等の取組との違いが不明確	147	103	44
コーディネーターの活動スペースが確保されていない(居場所がない)	108	90	18
スキルアップのための研修や情報交換・交流の場が少ない	62	45	17
その他	82	59	23

【その他の記述例】

- 予算の問題(食料費(接待用)、有償ボランティア制度、活動費等の要望)
- 人的問題(ボランティア人数の確保/後継者確保が困難)
- 施設問題(ボランティアの居場所作りがしたい、教室の空きがない)
- 関係づくり
- ・多忙な先生方とコミュニケーションをとる機会
- ・学校が何を私に期待しているのかわからない
- ・中学・小・小間の歩調合わせが必要
- 活動内容・体制
- ・仕事の都合で学校等に行く事が難しい
- ・中学生のニーズが分からない/中学校の授業支援は内容と打合せに關して、まだ難しい面がある
- ・書籍作成に要する時間が非常に多い

問18 学校支援の取組をより円滑に進めていく上で改善が必要と思われること (N=784)
 ※複数選択(3つまで)

	全体	小学校	中学校
教職員の理解	360	277	103
地域住民組織等の理解	285	198	87
PTAの理解	245	176	69
学校内で地域連携担当窓口(担当者)設置	173	123	50
コーディネーターの活動拠点(居場所)の設置	148	117	31
校務分掌上のコーディネーターの位置づけ	128	98	30
ガイドブック・実践事例集の作成・提供	126	101	25
コーディネーターの研修・交流機会の提供	84	57	27
その他	70	49	21

【その他の記述例】

- ・コーディネーターの存在を、教職員、保護者にきちんとその活動内容とともに伝えること。
- ・学校と十分コミュニケーションが取れること
- ・地教委の担当部署と指導部(室)が一体であること。
- ・企業との協力
- ・コーディネーター間のネットワーク
- ・コーディネーター有給/コーディネーターの専任制

問19 あなたがコーディネーターとして大切に考えている活動内容 (N=801)
 ※複数選択(3つまで)

	全体	小学校	中学校
学校・子供や地域のニーズ・状況把握	583	426	157
地域人材等(ボランティア)の発掘・活動計画立案・日程調整等	550	410	140
学校支援活動の広報・普及活動	411	299	112
企業等と連携した授業支援プログラムの情報収集・企画・提案	96	69	27
地域人材等(ボランティア)向け説明会・研修の企画・実施	94	62	32
学校支援に関する運営委員会等への出席	93	61	32
学校支援活動に必要な用品等の調達	77	58	19
学校支援活動に関わる活動記録等作成	58	45	13
その他	39	24	15

【その他の記述例】

- ・教職員との連携(授業のねらい等を共有すること)
- ・先生らのニーズを上手に理解し、支援につなげること
- ・ボランティアや講師の想いを受け止めて、学習のめあてに沿うように調整していくこと
- ・子供たちが興味、関心を持ち、楽しく参加出来る事で常に考えていく事
- ・継続していけるように人材を大切にすること

＜返信先＞東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課 学校支援担当 宛

●フアクミリによる回答の場合
別紙「FAX回答用(調査票:コーディネーター用)」の回答欄にご記入いただき、ご送信いただけますようお願いいたします。

●メールによる回答の場合
本調査票(Excelファイル)の回答欄にご記入いただき、以下の送信先までご送信いただけますようお願いいたします。
【送信先】ml-sy-gakosien@section.metro.tokyo.jp
(Eメール)

【調査票:コーディネーター用】
学校支援の取組に関する実態調査(コーディネーター用)

学校支援ボランティア推進協議会事業(学校支援地域本部事業)実施地区のコーディネーター向け
◇調査基準日:平成26年12月1日。取組状況を回答する場合は平成26年度(予定含む。)分について記入してください。

◇用語について:この調査では下記の用語を次の意味で用いていますので、回答の際には留意願います。
※回答欄の「緑色セル」:アルファ選択、「薄黄色セル」:文字・数字等の入力を示しています。回答内容によって、黒くなった部分は回答不要です。

○【学校支援】:地域の人材、大学、企業、NPO等が学校と連携・協力して、学校の授業や行事等の教育活動をはじめ、校舎や校庭の維持・管理、児童・生徒の安全確保など、学校における教育を直接・間接を問わず支援する活動を指す。

○【地域人材等(ボランティア)】:学校における教育を支援する地域人材、大学、企業、NPO等
○【コーディネーター】:学校のニーズに基づき、地域人材等(ボランティア)と学校の橋渡し役として、効果的に教育支援活動が行われるようコーディネーターを担う人(名称に関わらず、一定の制度や仕組みの下にコーディネーター役として位置付けられた人を指す。)

問	質問項目	回答欄
1	所属自治体	
2	学校種別	該当番号を記入
3	性別	該当番号を記入
4	年齢層	該当番号を記入
5	コーディネーター経験年数	該当番号を記入

6 属性

(1 主な属性の該当番号を一つ記入)

①	現PTA 関係者
②	元PTA 関係者
③	当該校の学校教職員(現職)
④	退職教職員
⑤	企業関係者
⑥	NPO 関係者
⑦	行政職員
⑧	元行政職員
⑨	地域住民組織等(自治会等)関係者
⑩	学校評議員・学校運営協議会等関係者
⑪	現青少年委員
⑫	現民生委員・児童委員
⑬	大学(院)生
⑭	その他(具体的に:)

「その他」の内容記入欄!

7 放課後子供教室との関係

①	放課後子供教室のコーディネーターも兼任している	該当番号を記入
②	放課後子供教室のコーディネーターは兼任していない	

8 学校支援の取組をしようと思ったきっかけ(コーディネーターとなったきっかけ)は?

①	子供たちの学力・体力や規範意識、コミュニケーション能力、授業態度の向上等につながると思ったから	該当番号を記入 上記の番号を記したものが三つまで選択して該
②	教員が授業や生徒指導などにより力を注げるよう支援できると思ったから	
③	地域住民の生きがいづくりや自己実現につながると思ったから	
④	地域の教育力が向上し、地域の活性化につながると思ったから	
⑤	コーディネーターや地域人材等(ボランティア)自身の楽しみ、生きがいづくりや自分の成長につながると思ったから	
⑥	何か人の役にたつと思ったから	
⑦	学校(又は行政)から頼まれたから	
⑧	コーディネーターから誘われたから	
⑨	その他(具体的に:)	

「その他」の内容記入欄!

9 コーディネーターとしてのおおよその平均活動日数

①	年間数日程度	該当番号を記入
②	月1～5日程度	
③	月6日～10日程度	
④	月11日から20日程度	
⑤	月21日以上	

10 1日当たりのおおよその平均活動時間数

① 1時間未満
② 1時間
③ 2時間
④ 3時間
⑤ 4時間
⑥ 5時間以上

「その他」の内容記入欄 ↓

11 コーディネーターの活動体制(1校当たり)

① 1人でコーディネート活動をしている
② 複数人で役割(担当)を分担して、コーディネート活動をしている
③ 複数人で活動日を分けるなど交代制でコーディネート活動をしている
④ 複数人で、特に分担せずにコーディネート活動をしている
⑤ その他(具体的に:)

「その他」の内容記入欄 ↓

12 支援している活動内容の頻度(平均)

① 学習支援
①年間数日 ②月1~3日 ③週1~2日 ④週3日以上 ⑤該当無
② 読み聞かせ・読書活動支援
①年間数日 ②月1~3日 ③週1~2日 ④週3日以上 ⑤該当無
③ 部活動(クラブ)指導
①年間数日 ②月1~3日 ③週1~2日 ④週3日以上 ⑤該当無
④ 校内環境整備[校庭維持管理 図書室整備等]
①年間数日 ②月1~3日 ③週1~2日 ④週3日以上 ⑤該当無
⑤ 子供の安全確保
①年間数日 ②月1~3日 ③週1~2日 ④週3日以上 ⑤該当無
⑥ 学校行事等の運営支援
①年間数日 ②月1~3日 ③週1~2日 ④週3日以上 ⑤該当無
⑦ その他(具体的に:)

「その他」の内容記入欄 ↓

12SQ01: ※上記「12(1)学習支援」①~④を選択した方に伺います。あなたがコーディネーターとして関わっている学習支援の具体的な内容は?

① 授業支援を行うが「スタディチューター(保護者や近隣住民個人等)」の調整
② 授業支援を行うが「スタディチューター(近隣商店街・企業・大学等)」の調整
③ 近隣商店街・企業・大学等における職場体験等の調整
④ 授業支援を行うが「スタディチューター(自治体を超えて幅広く活動している企業等)」の調整
⑤ 授業の補助を行うが教員の「アシスタント(TA)」の調整
⑥ 授業における実験・実習、校外学習の補助をする地域人材の調整
⑦ 課外(放課後)での学習支援(ドリル等の採点補助を含む)をする地域人材の調整
⑧ 課外(土日等)での学習支援(ドリル等の採点補助を含む)をする地域人材の調整
⑨ その他(具体的に:)

「その他」の内容記入欄 ↓

13 コーディネーターの活動内容としてどのようなことが求められていますか？(学校や行政から説明があったこと、求められていること)

① 地域人材等(ボランティア)の発掘・活動計画立案・日程調整等
② 地域人材等(ボランティア)向け説明会・研修の企画・実施
③ 学校支援活動の広報・普及活動
④ 学校支援活動に関わる活動記録等作成
⑤ 企業等と連携した授業支援プログラムの情報収集・企画・提案
⑥ 学校支援に関する運営委員会等への出席
⑦ 学校支援活動に必要な用品等の調達
⑧ 学校・子供や地域のニーズ・状況把握
⑨ その他(具体的に:)

⑩ よくわからない

「その他」の内容記入欄 ↓

14 地域人材等(ボランティア)発掘や教育支援プログラムの情報収集を行っていますか？

① 行っている
② 行っていない

該当番号を記入 ↓

14SQ01: ※上記「14」で「1」を行っているを選択した方に伺います。どのような方法で、探していますか？

① 区市町村担当課への相談や「人材バンク」等登録情報の活用
② 区市町村のホームページ・広報紙での募集
③ 学校のホームページ・広報紙での募集
④ 学校の教職員からの紹介
⑤ PTAからの紹介
⑥ 地域団体等からの紹介
⑦ 地域人材等(ボランティア)からの紹介
⑧ 個人的な人脈ネットワークを通じて
⑨ 東京都主催のコーディネーターと企業・NPOなどの交流機会の活用
⑩ その他(具体的に:)

⑪ 特に探していない

「その他」の内容記入欄 ↓

15 学校支援の取組を通して効果・変化があったと感じていることは？

① 子供たちの学力・体力や規範意識、コミュニケーション能力、授業態度の向上等につながったと感じている
② 教員が授業や生徒指導などにより力を注げるよう支援できたと感じている
③ 地域住民の生きがいづくりや自己実現につながったと感じている
④ 地域の教育力が向上し、地域の活性化につながったと感じている
⑤ コーディネーターや地域人材等(ボランティア)自身の楽しみ、生きがいづくりや自分の成長につながったと感じている
⑥ その他(具体的に:)

⑦ まだ効果を感じていない

「その他」の内容記入欄 ↓

16 あなたの担当する学校での学校支援の取組は円滑に進んでいると感じますか？

① そう思う
② ややそう思う
③ あまり思わない
④ 思わない
⑤ どちらともいえない

(← 主なものを記入して)

16SQ01 ※上記16で「①」または「②」を選択した方に伺います。その要因と考えられることはどのようなものがありますか？

① 校長がリーダーシップを発揮しているから
② 教職員の理解が得られているから(良好な関係づくりができてきているから)
③ 理解のある地域人材等(ボランティア)が多数いるから
④ PTAとの連携が良好だから
⑤ 行政のサポートが適切だから
⑥ コーディネーター間のネットワークができてきているから
⑦ 学校・コーディネーター・地域など取組の目的が共有できているから
⑧ 従来から地域人材等(ボランティア)の支援の仕組みがあったから
⑨ その他(具体的に:)

「その他」の内容記入欄↓

16SQ02 ※上記16で「③」または「④」を選択した方に伺います。その要因と考えられることはどのようなものがありますか？

① 学校の理解が得られないから
② 地域の理解が得られないから
③ コーディネーターとして十分力を発揮できていないから
④ 地域人材等(ボランティア)としての協力が少ないから
⑤ 必要な経費の確保が難しいから
⑥ 行政のサポートが不足しているから
⑦ PTAや既存の支援の仕組みとのすまわげがうまくできていないから
⑧ 学校・コーディネーター・地域など取組の目的が共有できていないから
⑨ その他(具体的に:)

「その他」の内容記入欄↓

17 コーディネーターとしての活動上の悩みや課題と感じていることはどのようなことですか？

① 学校や行政がコーディネーターにどのような役割を期待しているのかわからない
② 学校内や地域でコーディネーターの存在が認知されていない(位置づけが不明確)
③ 教職員の異動によって学校支援の方針が変わって戸惑う
④ 学校が求める地域人材等(ボランティア)の確保が難しい
⑤ コーディネーターの活動スペースが確保されていない(居場所がない)
⑥ PTA活動等の取組との違いが不明確
⑦ スキルアップのための研修や情報交換・交流の場が少ない
⑧ 活動に必要な経費が不十分もしくは制約があり使づらい
⑨ その他(具体的に:)

⑩ 特に悩みや課題は感じていない

「その他」の内容記入欄↓

18 学校支援の取組をより円滑に進めていく上で改善が必要と思われることはどのようなことですか？

① 学校教職員の中で地域連携担当窓口(担当者)を位置づけること
② コーディネーターを学校の校務分掌に位置づけること
③ 教職員が活動に理解があること
④ PTAが学校支援活動に対して理解があること
⑤ 地域住民組織等が学校支援活動に対して理解があること
⑥ 学校支援に関するガイドブック・実践事例集などがあること
⑦ コーディネーターの研鑽の場(研修・交流会)があること
⑧ コーディネーターの活動拠点(居場所)が学校内にあること
⑨ その他(具体的に:)

⑩ わからない

「その他」の内容記入欄↓

19 あなたがコーディネーターとして大切と考えている活動内容は、どのようなものがありますか？

① 地域人材等(ボランティア)の発掘・活動計画立案・日程調整等
② 地域人材等(ボランティア)向け説明会・研修の企画・実施
③ 学校支援活動の広報・普及活動
④ 学校支援活動に関わる活動記録等作成
⑤ 企業等と連携した授業支援プログラムの情報収集・企画・提案
⑥ 学校支援に関する運営委員会等への出席
⑦ 学校支援活動に必要な用品等の調達
⑧ 学校・子供や地域のニーズ・状況把握
⑨ その他(具体的に:)

⑩ よくわからない

「その他」の内容記入欄↓

質問は、以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。